

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立防災安全センター	所管課	防災局 防災危機管理課
所在地	中央市今福991	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年4月1日
管理方式	一般財団法人山梨県消防協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に、防災に関する展示・体験等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6,179.16㎡ ○建築面積 1,030.76㎡ ○建築延面積 1030.76㎡ ○建物の構造 耐震性鉄筋コンクリート造、平屋建て ○施設の内容 事務室、訓練実習室、視聴覚室、展示・体験フロア、車庫・備蓄庫、機械室		
主な業務内容	(1)体験設備、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 (2)地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 (3)防災に関する文献、写真等の収集、保管及び展示		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	入館者数	4,177	4,332	4,042	
	出張講座受講者数	14,853	14,317	13,999	
	防災指導車利用者数	17,467	17,564	16,306	
	利用者数合計	36,497	36,213	34,347	
	目標値	40,200	41,100	42,000	33,077
	目標値設定の考え方及びその理由	実利用者数を元に目標値設定。			
対平成29年度比		99.2%	94.1%		
利用率(防災指導車、視聴覚室)	50.0%50.0%	46.5%53.8%	49.0%51.0%	50.0%50.0%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	14,566,000	14,356,000	14,356,000	14,473,000
	その他				
	収入合計(A)	14,566,000	14,356,000	14,356,000	14,473,000
支出	人件費	7,899,000	9,442,000	7,630,257	9,442,000
	県への納付金				
	管理運営費	6,117,000	4,914,000	5,230,636	5,031,000
	うち外部委託費(B)	684,000	476,000	490,200	480,000
	支出合計(C)	14,016,000	14,356,000	12,860,893	14,473,000
	収支差額(A-C)	550,000		1,495,107	
	外部委託比率(B÷C)	4.9%	3.3%	3.8%	3.3%
	利用者一人当たりの経費	402.2	341.8	418.0	437.6

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	(1)実施時期: 平成31年4月～令和2年3月 (2)実施方法: 事業参加者・来場者アンケート調査 (3)回答数:80人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
体験の充実度	90.0%	10.0%		
展示・説明の解り易さ	85.0%	15.0%		
施設全般の満足度	87.5%	12.5%		

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①テントを利用した煙体験以外の実践的な体験が必要。 ②冷暖房の効きが良くない。 ③展示物について、適時リニューアルが必要。 ④施設の告知が必要。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明員が熱心に説明してくれたので、自助・共助・公助について理解が深まった。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①テントを利用した煙体験の他、教室を利用した体験も実施している。 ②冷暖房施設については、令和2年度に設備更新を予定している。 ③写真パネルの掲載内容を適時更新している。 ④起震車の出張先などでパンフレット配布するなど、引き続き周知に努めている。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、専門員が災害知識の習得を行うことで、災害時に役立てる説明に努める。

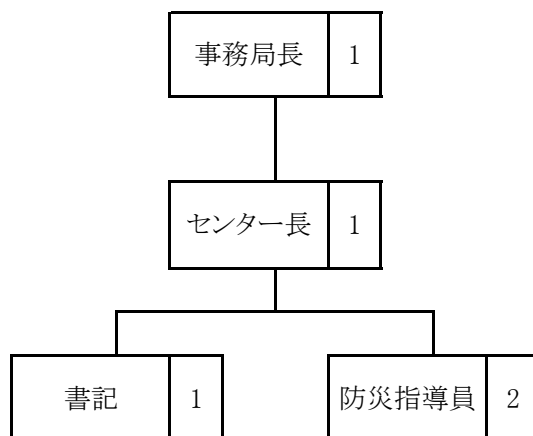
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	来館者に快適に見学してもらえよう、施設及び設備について日常的に点検を実施し、適正に管理している。	管理業務計画書等のおり適正に業務は遂行されている。
運營業務	起震車による出張講座の体験事業をメインに据え、防災意識の普及・啓発に努めている。また、施設の来館者に対しては、日常から災害に備えた意識づけについて、展示物を活用しながら普及・啓発に努めている。	管理業務計画書等のおり適正に業務は遂行されている。
利用状況	2月末から新型コロナウイルス感染拡大防止により施設を休館したことから、利用者数合計の実績値(34,347人)が、目標値(42,000人)には達しなかったものの、防災指導車の積極的な派遣により、前年度同期(2月末)比較では同程度(99%)の利用者数を実現することができた。 今後も、自主事業の充実等により入館者数の増加を図るとともに、防災指導車の活用等により出張講座受講者数の増加を図り、全体の利用者数が増加するよう努めていきたい。	引き続き、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけにより、体験事業の実績向上に努められたい。 特に、防災指導車(起震車)のPR等を通じて、利用者の受入を積極的に図って頂きたい。
収支状況	人件費や光熱水費などの義務的経費の比率が高い中、各支出について点検し、経費の節減に努め対応している。	引き続き、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努めて頂きたい。
自主事業	自主防災組織の構成員、地域住民等を対象として、受講者の特性に応じた防災講座を実施し、災害に備えた普及・啓発に取り組んだ。	受講者の特性に応じた研修を実施することは有効であることから、引き続き研修を継続し、防災意識の普及・啓発を推進して頂きたい。
利用者満足度	アンケート回答者のほぼ全員が「満足」・「どちらかといえば満足」してくれたので、成果が出たものと評価する。	利用者の満足度は高いと判断するが、引き続き、利用者の意見収集を行い、多様化するニーズを汲み取り、サービス向上につなげて頂きたい。 昨年度より、アンケート回答数が少ないことから、利用者のニーズを把握するために、積極的にアンケートを実施して頂きたい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>防災安全センターを、住民の生命と暮らしを守るための防災知識が習得できる施設として運営し、一人でも多くの県民に防災の知識と体験を提供できるようにすることが目的であるため、利用者数を運営目標としている。</p> <p>令和元年度の利用実績は、目標値42,000人に対して実績値34,347人(達成率81.8%)と、目標値を下回ったが、昨年度は2月末から新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえた臨時休館となった特殊事情がある。なお、5カ年の平均値は約36,000人を維持しており、評価できる水準にあると考えられる。また、利用者満足度も80%以上であり、その運営内容も評価できる。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>定期的に現地へ赴き、実施状況を確認したところ、業務は適正に実施されている。</p> <p>利用実績については、防災指導車を平成27年度に更新したことにより、防災指導車利用者数が大きく増加し、以降その水準を維持しており、利用者からの評価も良好である。なお、利用者数の増加に繋がるような継続的な取り組みを図ることが必要であることから、出張講座の訪問先を拡大するよう指示した。</p> <p>また、切迫性が指摘される南海トラフ地震や富士山噴火などに的確に対応できるよう、これまで以上に防災知識の普及・啓発、利用者サービスの向上、施設等の維持管理に取り組むことが必要である。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用実績は、36,000人/年で推移しており、利用者の満足度も高い。また、糸魚川大火の被災地の写真や台風災害の写真、避難所の再現模型を展示するなどの工夫を施し、時期に応じ、センター展示品の刷新も図っており、防災知識の普及・啓発に寄与していると考えられる。</p> <p>また、防災指導車については、平成27年度に東日本大震災の揺れを再現できる最新型の機能を搭載した車に更新したことから、出張講座を積極的に実施していくことを計画し、利用者の増加を目指していく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在



事務局長	1 人
センター長	1 人
書記	1 人
防災指導員	2 人
合計	5 人